

府盲通信 令和6年度より

「にこにこの新生活」

生まれたときから、色々と疾患がある娘。
一つ一つ乗り越えて生きるその姿はとても遅しく、愛おしい娘。
この春から幼稚部の年少さん。こちらの心配はよそに、入園式から「早く遊ぼー？遊べる？」と、やる気満々。優しい先生方とお友達と過ごす日々は、とても楽しそう。幼稚部で歌ったお歌を、おうちでも歌ってくれるね。これからも、とにかく毎日楽しんで、たくさん笑って過ごしてね。
楽しみながら、たくさんのかんことを学ばせて頂く環境に感謝いたします。
娘とお友達の未来は、きっと明るい。

「ドキドキしたスポーツフェスティバル」

ぼくは毎年スポフェスはドキドキします。でも、三年生のスポフェスはがんばることができました。一番たのしかった種目は、三十メートル走。こけないか不安だったけどワクワクして七秒四六がだせてうれしかったです。
パパとお兄ちゃんをつなひきができてうれしかったです。来年も優勝したいです。

「修学旅行の思い出」

修学旅行で楽しかったことは、海に行ったことです。淡路島で地引網をしました。魚が動いていたので、ちょっとこわかったです。たこもさわりました。写真も撮りました。
三日目のうどん学校も楽しかったです。小麦粉と塩と水を混ぜてうどんをつくりました。音楽に合わせてノリノリで作りました。おいしかったです。友達と一緒に修学旅行最高。

「経験と卒業」

僕は高校一年生の頃の抱負を「様々なことに挑戦し、タネを撒きたい」と掲げました。それを聞いた先生方は生徒会長やクラブ活動、学級委員長など数多くのことを勧めてくれ、挑戦させていただきました。
高校二年生では「一年生の時に撒いたタネを育てたい」と掲げました。生徒会長を継続し、学校のマスコットキャラクターのリメイクをしたり、フロアバレー部を継続し、チームの得点源として全国大会優勝に貢献できたりと一年目に植えたタネをしっかりと育てることができました。それに加え、「挑戦」を忘れることなく、ゴールボール部に加入し、近畿大会で三位を取りました。
三年生では、「花を咲かせる」と掲げ、部活動でキャプテンを務め、無事優勝できました。高校生活のどの場面を切り取っても充実していたなと感じ卒業が、別れが心の底から寂しく思います。しかし、僕は僕の間人としての管理能力の低さや過去の僕は本当に未熟で先生方、友達からの助け舟に気づくことができずがむしゃらに走るばかりでした。沈む夜も、涙を流すヒストリーも、負けたあの試合も。全てが最高の青春でした。
こんな僕でもここまで走り続けられたのは、答えがないものを愛し続けられたのは、背中を押してくれた同級生のおかげだったり、いつも見守ってくれた友達や先生方のおかげだと思っています。
最高のアオハルをありがとうございました。
理想と希望、未到の地を。誰かが誰かを思って。